

科目名	心理学研究法			担当教員	安藤 史高、吉田 琢哉	
単位	1単位	講義区分			ナンバリング	ED1SPS103
期待される学修成果	教科教育 子ども理解					
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	心理学の学術論文の読解やグループワーク等をととして、心理学研究の一連のプロセス（特に、研究計画の立案と、「調査法」を用いたデータの収集）について学ぶ。					
授業の概要	受講者は、グループに分かれ、調査計画の立案を行い、実践的に研究法を体験する。論文講読、研究計画、仮説検証、データ処理など研究の具体的手順についても理解を深める。					

授業計画	
第1回	ガイダンス／心理学研究の流れ
第2回	心理学の主な研究法
第3回	論述の組み立て
第4回	構成概念の測定／心理尺度の信頼性と妥当性
第5回	論文のまとめ方
第6回	原著論文1本目の講読
第7回	原著論文2本目の講読
第8回	研究計画の立て方
第9回	グループ内発表
第10回	研究テーマとリサーチクエスションの決定
第11回	問題と目的の議論を組み立てる
第12回	質問項目の決定
第13回	構想発表の準備
第14回	構想発表Ⅰ～前半グループの発表
第15回	構想発表Ⅱ～後半グループの発表

事前学修	0.5時間	授業内での発表等に備え、準備を行っておくこと。
事後学修	0.5時間	授業内で与えられた課題にグループで取り組むこと。
フィードバックの方法	発表内容に対して授業内でコメントし、質問に対してはその場で回答する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	50%	授業内で課すレポートへの取り組みで評価する。
上記以外の試験・平常点評価	50%	授業内で課す課題への取り組みによって評価する。
補足事項		

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
心理学論文解体新書：論文の読み方・まとめ方活用ガイド	近藤龍彰・浅川淳司（編著）	ミネルヴァ書房	9784623092550	なし
参考資料	授業の各回で、参考文献、インターネットサイトなどを適宜紹介する。			